

## 市場における温州ミカンの品質調査

遠田春二・江口 浩・江原忠彰・野方俊秀  
(佐賀県果樹試験場)TODA, H., EGUCHI, H., EHARA, T. and NOGATA, T.  
On the Qualities of Satuma Oranges at the Market

## 1. 緒 言

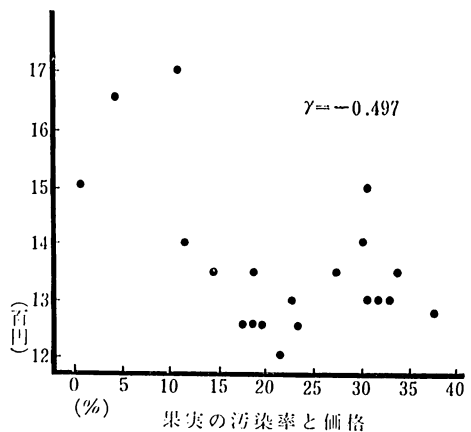
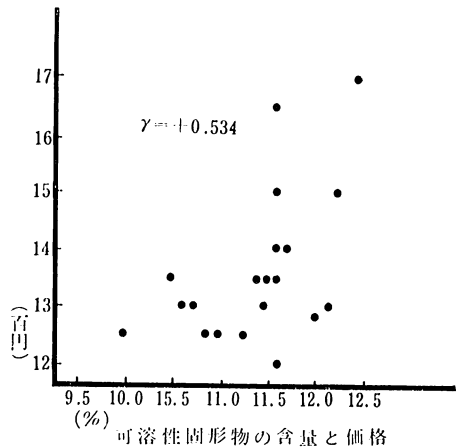
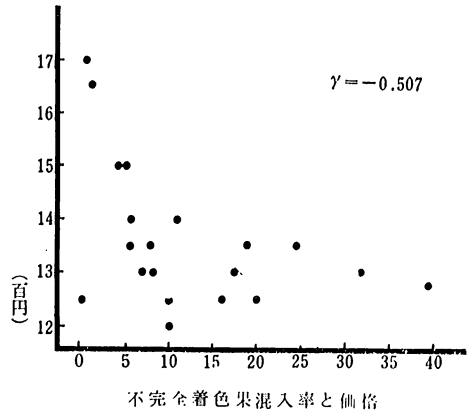
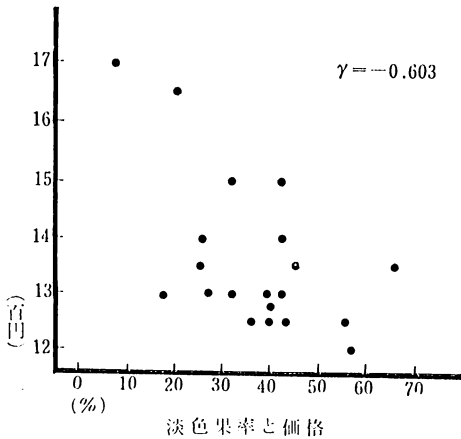
生産の最終目的は市場において、いかに有利に取り引きされるかにあると思われるが、現状は各産地間にかんがりの価格差がある、したがってこの価格差は、如何なるものによつて生じたかを知るために、市場に出荷された早生温州について調査を行つたので、その結果を報告する。

## 2. 調査方法

調査期日は1964年11月3日～7日までに東京市場に出荷されたもので、これが対象産地は佐賀県内のものが12産地と、県外のものが8産地である。資料は各産地のM階級秀品 15kg入各1箱あてを無作為に抽出して、外観調査と分析調査に分けて行つた。即ち外観調査では(正味重量、規格外の少果畸形果の混入率・選果輸送中における障害果と腐敗率・着色の程度と濃度・病害虫や風ずれなどによる果皮の汚染率・果皮の粗滑程度・油胞点の数と大きさ・果径指数)分析調査では(可溶性固形物の含量・クエン酸の量、果皮の厚さ・果汁歩合)以上のような調査項目とした。

## 3. 結果及び考察

調査結果と価格との相関関係をみるに、比較的関連性の高かつたものは、色の淡いものの混入・不完全着色果の混入・汚染果の混入・果皮の粗いもの・果皮の厚いものなど主に外観的のものが多く、又味の面で可溶性固形物の含量が相当関連していることを示した。これら関連性の高いものの一部を図表で示すと次のようである。



以上述べた以外の調査項目についても、産地によつてかなりの差が認められたものもあつた。しかし価格との相関は比較的低い結果が出たが、これはこの調査が出荷された多量のうちの1箱の結果であるため、必ずしもこの調査の対照となつた産地の果実を代表していないこともあると考えられる。一方では従来から指

摘されていた外観の良否による、価格差を明確に現わしており、出荷に当つての選果の重要性を示しているものと考えられる。又味の面においても糖度が高く、酸も適度に含まれ、所謂濃厚でコクのあるものが高く評価されていることからみて、今後は特に味の良否による価格差が増大されていくものと思われる。